

## 6月24日(土) A会場(パシフィコ横浜ノース 1F G7+G8)

8:30～10:30 **委員会シンポジウム29 (薬事委員会)**  
ADHD治療薬の課題と展望

司会：齊藤 卓弥 北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門  
安田 由華 医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニックNeo梅田茶屋町

### CS29-1 児童期の治療：薬物療法と心理社会的治療

○山下 裕史朗  
久留米大学医学部・小児科学講座

### CS29-2 成人期ADHDの薬物療法 ～臨床現場からの報告

○岩波 明、中村 暖、林 若穂、鈴木 洋久  
昭和大学医学部精神医学講座

### CS29-3 臨床現場におけるADHD治療薬の適正使用と流通管理に関する問題

○安田 由華<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニックNeo梅田茶屋町、  
<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

### CS29-4 ADHD治療薬の流通及び規制について～諸外国との比較の観点から～

○齊藤 卓弥  
北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門

### CS29-5 ADHD治療薬の適正流通管理について

○竹内 大輔  
厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課

〈メインコーディネーター〉 齊藤 卓弥 北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門  
〈サブコーディネーター〉 安田 由華 医療法人フォスター生きる育む輝くメンタルクリニックNeo梅田茶屋町

## 10:45～11:45 教育講演8

司会：井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

### EL8 健康経営とメンタルヘルス ～新たな健康の価値とこれからの健康づくり～

○藤岡 雅美  
経済産業省ヘルスケア産業課





12:00～13:00 教育講演9

司会：張 賢徳 六番町メンタルクリニック

EL9 最近の自殺問題の推移と自殺予防医療の確立

○河西 千秋<sup>1</sup>、張 賢徳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>札幌医科大学医学部神経精神医学講座、<sup>2</sup>六番町メンタルクリニック



13:15～14:15 教育講演10

司会：田口 寿子 神奈川県立精神医療センター

EL10 我が国における矯正精神医療の現状と課題

○奥村 雄介

東日本矯正医療センター



## 6月24日(土) B会場(パシフィコ横浜ノース 1F G5)

8:30～10:30 シンポジウム79

統合失調症における自閉性と自閉スペクトラム症－病態における同異の研究を臨床に活かす知見－

司会：金原 信久 千葉大学社会精神保健教育研究センター  
木村 大 学会会木村病院精神科

S79-1 統合失調症の自閉症的特性と神経・社会認知機能：  
自閉症スペクトラム障害との比較検討

○仲田 祐介  
千葉大学大学院医学研究院精神医学

S79-2 自閉スペクトラム症における精神病エピソード

○大塚 達以  
東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

S79-3 統合失調症と閉スペクトラム症の疾患概念に関する、EBMを踏まえた考察

○桑原 斉  
埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

S79-4 統合失調症の自閉症的特性に関連するバイオマーカー研究の取り組み

○小松 浩<sup>1</sup>、小野口 豪<sup>2</sup>、富田 博秋<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東北大学病院精神科、<sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野

〈メインコーディネーター〉 金原 信久 千葉大学社会精神保健教育研究センター  
〈サブコーディネーター〉 木村 大 学会会木村病院精神科

10:45～12:45 委員会シンポジウム32 (倫理委員会)

〔日本精神神経学会倫理教育研修会対象セッション〕

当事者参加型の倫理委員会の意義と可能性：ゲノム研究を例にとって

司会：夏苺 郁子 やきつべの径診療所精神科  
尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

CS32-1 当事者参加型の倫理委員会の意義と可能性～当事者・家族の立場から～

○井上 恵子  
医療過誤原告の会

CS32-2 当事者参加型の倫理委員会の意義と可能性 ー精神障害者家族の立場からー

○岡田 久実子  
全国精神保健福祉会連合会

CS32-3 当事者参加型の倫理委員会の意義と可能性：双極性障害の当事者・家族の視点から

○佐藤 純  
ノーチラス会



CS32-4 精神疾患のゲノム解析結果の患者・家族への還元

○久島 周  
名古屋大学精神科

CS32-5 ゲノム研究成果をどのようにゲノム医療に活かすか？  
－研究者・遺伝カウンセラーの立場から－

○堀内 泰江<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野、<sup>2</sup>静岡社会健康医学大学院大学

〈メインコーディネーター〉 夏莉 郁子 やきつべの径診療所精神科

〈サブコーディネーター〉 尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学

※参加された方のうち希望者に「倫理教育研修会修了証」を発行いたします。

※専門医機構認定共通講習とは異なります。

## 6月24日(土) C会場(パシフィコ横浜ノース 1F G6)

8:30～10:30 シンポジウム80

診断閾下の発達障害 ～発達障害グレーゾーンという概念の意義と危険性～

司会：村上 伸治 川崎医科大学精神科学教室  
原田 剛志 医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック

### S80-1 「職場のうつ」にひそむグレーゾーン

○原田 剛志  
パークサイドこころの発達クリニック

### S80-2 成人期発症ADHDをめぐる議論から閾下(あるいはグレーゾーン)を再考する

○神尾 陽子<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、<sup>2</sup>神尾陽子クリニック、<sup>3</sup>お茶の水女子大学

### S80-3 ふだんは診断を必要としない自閉スペクトラムの特性のある人が一時的に示す社会生活の支障

○本田 秀夫<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>信州大学医学部子どもこころの発達医学教室、<sup>2</sup>信州大学医学部附属病院子どもこころ診療部

### S80-4 診断閾下の発達障害の臨床的諸問題――精神病理学の立場から

○内海 健  
日本銀行医務室

#### 〔指定発言〕

○大瀧 和男  
かずおメンタルクリニック

#### 〔指定発言〕

○秋山 剛  
NTT東日本関東病院

〈メインコーディネーター〉 原田 剛志 医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック  
〈サブコーディネーター〉 神尾 陽子 医療法人社団神尾陽子記念会発達障害クリニック

10:45～12:45 シンポジウム91

日本生物学的精神医学会との合同シンポジウム：生物学的研究によって精神科医は何をすべきか？

司会：岡本 泰昌 広島大学病院  
上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学

### S91-1 精神疾患ゲノム研究の成果を臨床に活かす戦略と戦術

○池田 匡志  
藤田医科大学医学部精神神経科学



S91-2 脳画像研究の進歩に精神科医はどう対応していくべきか？

○小池 進介

東京大学大学院総合文化研究科附属進化認知科学センター

S91-3 動物モデルによって精神科医は何ができるのか？

○牧之段 学

奈良県立医科大学医学部精神科

S91-4 脳機能画像研究の成果を臨床に還元する方略

○平野 羊嗣<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、<sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈メインコーディネーター〉 上野 修一 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学

13:15～15:15 シンポジウム100

発達障害とNeurodiversity

司会：岩波 明  
柏 淳

昭和大学医学部精神医学講座  
ハートクリニック横浜

S100-1 ニューロダイバーシティ-発達障害者の活躍を促す、産業界の新たなアプローチ

○高田 篤史

株式会社野村総合研究所ヘルスケア・サービスコンサルティング部

S100-2 精神科診療におけるNeurodiversity

○本田 秀夫<sup>1,2</sup>、柏 淳<sup>3</sup>

<sup>1</sup>信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、<sup>2</sup>信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、

<sup>3</sup>ハートクリニック横浜

S100-3 ギフテッドとNeurodiversity

○池澤 聡

東京大学大学院総合文化研究科ギフテッド創成寄付講座

S100-4 障害者雇用を超えられるか？ 発達障害からニューロダイバーシティへ  
福祉における取り組み

○鈴木 慶太

株式会社Kaizen

〈メインコーディネーター〉 岩波 明 昭和大学医学部精神医学講座

## 6月24日(土) D会場(パシフィコ横浜ノース 3F G303+G304)

### 8:30～10:30 シンポジウム81 ゲーム障害の予防・治療について

司会：樋口 進 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科  
松崎 尊信 国立病院機構久里浜医療センター精神科

#### S81-1 ゲーム障害の治療概説と久里浜医療センターのこれまでの取り組みについて

○松崎 尊信  
国立病院機構久里浜医療センター精神科

#### S81-2 ゲーム障害に対する認知行動療法プログラム(CAP-G)および治療キャンプ(SDiC)の効果

○三原 聡子  
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター心理療法士室

#### S81-3 インターネット・ゲーム問題(依存的)使用の予防活動と診療

○中山 秀紀  
北仁会旭山病院

#### S81-4 小児におけるゲーム障害の現状 –IGDS9-SF日本語版を用いて–

○井上 建  
獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター

#### S81-5 社会的ひきこもりとゲーム障害における鶏卵問題とその打開策の提案

○加藤 隆弘  
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

#### 〔指定発言〕

○樋口 進  
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 松崎 尊信 国立病院機構久里浜医療センター精神科  
〈サブコーディネーター〉 樋口 進 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科

### 10:45～12:45 シンポジウム92 強迫症の理解と治療戦略のアップデート

司会：中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学  
金生 由紀子 東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野

#### S92-1 強迫症の基本的な治療戦略と脳神経基盤

○豊見山 泰史  
九州大学病院



S92-2 チック関連強迫症(OCD)の理解と治療

○金生 由紀子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野、

<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院こころの発達診療部

S92-3 不安が関与し認知的な増悪プロセスを有する典型的な強迫症(cognitive type)に対する認知行動療法の工夫

○飯倉 康郎

医療法人社団宗仁会筑後吉井こころホスピタル

S92-4 強迫症の新規治療；グルタミン酸系薬剤

○阿部 能成

京都府立医科大学附属病院

〔指定発言〕

○村山 桂太郎

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈メインコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈サブコーディネーター〉 豊見山 泰史 九州大学病院精神科医局

13:15～15:15 シンポジウム101

朝起きられない不登校児への多面的な評価と介入

司会：小鳥居 望

神林 崇

仁祐会小鳥居諫早病院神経精神医学講座

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／茨城県立こころの医療センター

S101-1 小児科医から見た「不登校と起床困難」、起立性調節障害を中心に

○呉 宗憲

東京医科大学病院小児科・思春期科

S101-2 睡眠医療から見た起床困難、概日リズム障害を中心に

○高江洲 義和

琉球大学精神病態医学講座

S101-3 起床困難の児童生徒への非薬物療法的アプローチ

○綾部 直子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>秋田大学教育文化学部、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S101-4 起床困難例における睡眠脳波の検討

○大島 勇人<sup>1,2</sup>、小鳥居 望<sup>2,3</sup>、小曾根 基裕<sup>2</sup>、内村 直尚<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人勇愛会大島病院、<sup>2</sup>久留米大学病院精神神経科、<sup>3</sup>医療法人仁祐会小鳥居諫早病院



【指定発言】

○神林 崇

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／茨城県立こころの医療センター

〈メインコーディネーター〉 小島居 望

仁祐会小島居諫早病院神経精神医学講座

〈サブコーディネーター〉 神林 崇

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構／

茨城県立こころの医療センター



## 6月24日(土) E会場(パシフィコ横浜ノース 3F G301+G302)

8:30~10:30 シンポジウム82

不安症、物質使用症、摂食障害を支持的な精神療法で治療するには、何が必要か？

司会：宮岡 等 北里大学医学部精神科  
山下 達久 からすま五条・やましたクリニック精神科

S82-1 不安・強迫における支持的な精神療法・動機づけ面接とは？ランダム化比較試験におけるプラセボ反応から

○原井 宏明  
原井クリニック精神科

S82-2 物質使用症臨床における支持的な精神療法—harm reduction psychotherapyの実践

○松本 俊彦  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

S82-3 不知の姿勢，共に探索することによる支持

○崔 炯仁  
稲門会いわくら病院精神科

S82-4 摂食障害への支持的な精神療法

○永田 利彦  
壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック

〈メインコーディネーター〉 永田 利彦 壺燈会なんば・ながたメンタルクリニック  
〈サブコーディネーター〉 宮岡 等 北里大学医学部精神科

10:45~12:45 委員会シンポジウム33 (薬事委員会)

治療抵抗性統合失調症はどのように治療すべきか：我々の合意形成を目指して

司会：三村 將 慶應義塾大学精神神経科学教室  
橋本 亮太 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

CS33-1 治療抵抗性統合失調症の診断と治療～診療ガイドラインより～

○稲田 健  
北里大学医学部精神科学

CS33-2 治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン処方の実態

○古郡 規雄  
獨協医科大学精神神経医学講座

CS33-3 クロザピン普及に向けての規制緩和

○新津 富央  
千葉大学大学院医学研究院精神医学

CS33-4 治療抵抗性統合失調症に対する診療報酬制度

○山之内 芳雄、森 隆夫  
あいせい紀年病院精神科

CS33-5 クロザピン治療における薬理ゲノム学研究の応用と治療抵抗性統合失調症の遺伝子研究

○齋藤 竹生、岩田 仲生  
藤田医科大学医学部精神科

〈メインコーディネーター〉 稲田 健  
〈サブコーディネーター〉 橋本 亮太

北里大学医学部精神科学  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
精神疾患病態研究部



## 6月24日(土) F会場(パシフィコ横浜ノース 3F G312+G313)

8:30~10:30 **委員会シンポジウム30 (PCN編集委員会)**  
ここまで来ている新規治療法開発：期待と課題

司会：高橋 英彦 東京医科歯科大学病院  
加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学講座

### CS30-1 アルツハイマー病治療法開発の現状と課題

○岩坪 威  
東京大学大学院医学系研究科神経病理学

### CS30-2 中枢神経を標的にしたヘテロ核酸医薬の現状

○横田 隆徳  
東京医科歯科大学脳神経内科

### CS30-3 経頭蓋超音波刺激法の課題と臨床応用の可能性

○小西 清貴、長田 貴宏  
順天堂大学医学部

### CS30-4 統合失調症における新規シナプス自己抗体の発見

○塩飽 裕紀  
東京医科歯科大学精神行動医学分野

〈メインコーディネーター〉 高橋 英彦 東京医科歯科大学病院  
〈サブコーディネーター〉 加藤 忠史 順天堂大学医学部精神医学講座

10:45~12:45 **委員会シンポジウム34 (国際委員会)**  
日本で暮らす難民・避難民のメンタルヘルス支援を考える

司会：桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック  
秋山 剛 NTT東日本関東病院

### CS34-1 ウクライナ避難民のメンタルヘルス不調に対する診療の実際

○花岡 晋平<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>千葉県精神科医療センター、<sup>2</sup>東邦大学医学部社会医学講座

### CS34-2 日本の難民・避難民支援の現状と展望

○石川 美絵子  
日本国際社会事業団

### CS34-3 在留ウクライナ人からみた日本の難民支援の課題

○Evtushuk Igor  
日本ウクライナ友好協会

CS34-4 難民の受け入れ国での心理的適応および彼らへのメンタルヘルスケアの留意点

○鶴川 晃  
大正大学

〈メインコーディネーター〉 桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルス  
クリニック

13:15～15:15 シンポジウム102

精神科アウトリーチはいつ誰に必要なのか？－対象と実施主体別にみた支援の実際と仕組みづくり－

司会：西尾 雅明 東北福祉大学総合福祉学部総合福祉学部  
渡邊 真里子 ちはやACTクリニック

S102-1 入院からの地域移行支援に必要なアウトリーチ

○上島 雅彦  
竹田総合病院精神科

S102-2 開業時からできるアウトリーチと顔の見える地域連携  
－ライトな多機能型診療所の実践－

○大鶴 卓  
琉球こころのクリニック

S102-3 地域でのリエゾン活動とケースマネジメントの実際と課題

○渡邊 真里子  
ちはやACTクリニック

S102-4 発達障害の地域支援からみるアウトリーチの課題

○植田 俊幸  
鳥取県立厚生病院精神科

〈メインコーディネーター〉 渡邊 真里子 ちはやACTクリニック  
〈サブコーディネーター〉 西尾 雅明 東北福祉大学総合福祉学部総合福祉学部



6月24日(土) G会場(パシフィコ横浜ノース 3F G314+G315)

8:30~10:30 シンポジウム83

ガイドライン普及事業の最前線と今後の展開

司会：尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学  
中込 和幸 国立精神・神経医療研究センター理事

S83-1 治療ガイドラインの意味するところ

○渡邊 衡一郎  
杏林大学医学部精神神経科学教室

S83-2 診療ガイドラインの普及とその検証

○橋本 亮太  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

S83-3 EGUIDEプロジェクトから見てきた臨床技術向上に関する下位診断及び重症度診断の重要性について

○村岡 寛之  
北里大学病院精神科

S83-4 ガイドラインに基づいた診療を実践するコツを学ぶためのEGUIDE  
クリニカルプラクティス(EGUIDE-CP)

○福本 健太郎  
岩手医科大学神経精神科学講座

S83-5 大阪精神科診療所協会における診療ガイドライン普及活動について

○勝元 榮一  
かつもとメンタルクリニック

S83-6 『統合失調症薬物治療ガイド2022』を用いた心理教育の試み

○市橋 香代  
東京大学医学部附属病院精神神経科

〔指定発言〕

○福田 正人  
群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

〔指定発言〕

○樋口 輝彦  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター／日本うつ病センター

〈メインコーディネーター〉 古郡 規雄 獨協医科大学精神神経医学講座  
〈サブコーディネーター〉 稲田 健 北里大学医学部精神科学

10:45～12:45 シンポジウム93

診療科横断・多職種連携による複合介入の開発・検証と実装：サイコオンコロジー領域の研究開発

司会：稲垣 正俊 島根大学医学部精神医学講座  
内富 庸介 国立研究開発法人国立がん研究センター

S93-1 がん患者の自殺の実態と対策

○藤森 麻衣子  
国立がん研究センターがん対策研究所

S93-2 がん患者さんへのマインドフルネス認知療法の実証研究

○藤澤 大介  
慶應義塾大学医学部医療安全管理部／精神・神経科

S93-3 乳がん患者の再発恐怖に対するスマホ問題解決療法および行動活性化療法の有効性  
—分散型ランダム化比較試験

○明智 龍男  
名古屋市立大学病院

S93-4 精神科医療機関におけるケースマネジメントを用いた統合失調症患者に対する  
がん検診勧奨法の開発

○藤原 雅樹  
岡山大学病院  
  
〈メインコーディネーター〉 稲垣 正俊 島根大学医学部精神医学講座

13:15～15:15 委員会シンポジウム37 (精神保健福祉法委員会)

精神保健福祉法改正 —それぞれの立場で考える精神保健福祉法のあるべき姿—

司会：太田 順一郎 岡山市こころの健康センター  
佐竹 直子 国立国際医療研究センター国府台病院精神科

CS37-1 脱精神保健福祉法体制に向けた政策の青写真

○桐原 尚之  
全国「精神病」者集団運営委員

CS37-2 精神保健福祉法改正 —家族の立場から考える精神保健福祉法のあるべき姿—

○赤池 千明  
公益社団法人全国精神保健福祉社会連合会

CS37-3 精神保健福祉法改正～法学者の立場から

○柑本 美和  
東海大学法学部法律学科



CS37-4

## 2022年精神保健福祉法改正－概略、学会見解、私見

○中島 直<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>医療法人社団新新会多摩あおば病院、<sup>2</sup>日本精神神経学会精神保健福祉法委員会

〈メインコーディネーター〉 佐竹 直子 国立国際医療研究センター国府台病院精神科

〈サブコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター



## 6月24日(土) H会場(パシフィコ横浜ノース 3F G316+G317)

8:30～10:30 シンポジウム84

曲がり角に立つ精神科入院医療－課題の多様性から将来を探る

司会：竹島 正 川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター  
須田 史朗 自治医科大学附属病院

S84-1 人口、精神病床数、在院患者数の変化をもとにした  
都道府県の精神科医療提供の類型化の試み

○河野 稔明、竹島 正  
川崎市総合リハビリテーション推進センター

S84-2 臨床現場からの改革は可能か

○木村 勝智、森 隆夫  
あいせい紀年病院

S84-3 過疎地における地域密着型精神科病院の取り組み(もしくは苦闘)

○永田 雅子  
医療法人慈和会大口病院

S84-4 精神医療は一般医療に近づけるのか?

○北村 立  
石川県立こころの病院精神科

S84-5 本質的な行動制限最小化の方策と行政の役割について

○杉山 直也  
公益財団法人復康会沼津中央病院

〔指定発言〕

○佐伯 吉規  
がん研有明病院

〔指定発言〕

○須田 史朗  
自治医科大学附属病院

〈メインコーディネーター〉 竹島 正 川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター  
〈サブコーディネーター〉 須田 史朗 自治医科大学附属病院



10:45~12:45 シンポジウム94

「進化精神医学」の現在と展開

司会：神庭 重信 社会医療法人栗山会飯田病院精神科  
加藤 敏 小山富士見台病院精神科

S94-1 進化精神医学の概要と現在

○高野 覚  
医療法人社団明雄会本庄児玉病院精神科

S94-2 老年精神医学と進化人類学

○池田 学  
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

S94-3 進化精神医学の問題枠からみる統合失調症—分子生物学と精神病理学から

○加藤 敏  
医療法人心教会小山富士見台病院

S94-4 進化的視点はココロのみかた・精神科臨床をどう変えるか  
—「ココロの医者」のための進化学

○豊嶋 良<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人静和会中山病院精神科、<sup>2</sup>埼玉医科大学名誉教授（精神医学）

〈メインコーディネーター〉 高野 覚 医療法人社団明雄会本庄児玉病院精神科  
〈サブコーディネーター〉 加藤 敏 小山富士見台病院精神科

13:15~15:15 シンポジウム103

被害と加害

司会：石川 雅智 千葉大学大学院医学研究院精神医学  
松本 悟志 学而会木村病院精神科

S103-1 オープンダイアログ的対応から性的加害・被害と発達障害を考察する

○石川 真紀  
千葉県精神保健福祉センター臨床検査課

S103-2 高齢者の権利擁護支援

○細井 尚人  
社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院

S103-3 刑事施設における「被害と加害」に関わる取り組み

○東本 愛香  
千葉大学社会精神保健教育研究センター

S103-4 多様化するハラスメント問題

○仲田 祐介  
千葉大学大学院医学研究院精神医学

S103-5 単科精神科病院における家族支援チームの実践

○松木 悟志  
医療法人学術会木村病院

〈メインコーディネーター〉	石川 雅智	千葉大学大学院医学研究院精神医学
〈サブコーディネーター〉	松木 悟志	学術会木村病院精神科
	渡邊 博幸	学術会木村病院



6月24日(土) |会場(パシフィコ横浜ノース 3F G318+G319)

8:30~10:30 シンポジウム85

世に出ていく力動精神医学—今日的意義と課題

司会：近藤 直司 大正大学心理社会学部臨床心理学科

S85-1 アウトリーチ・訪問診療場面における精神力動的視点について

○木崎 英介  
医療法人財団厚生協会大泉病院

S85-2 組織における力動精神医学の応用

○嶋田 博之  
東日本矯正医療センター

S85-3 「行うこと」のない「知ること」は無意味である：力動精神医学が効力を発揮するために

○白波瀬 丈一郎  
東京都済生会中央病院健康デザインセンター

S85-4 トマトはどんな味？—教育現場における集団精神療法の魅力

○林 公輔  
学習院大学文学部心理学科

〔指定発言〕

○池田 暁史  
大正大学心理社会学部臨床心理学科

〈メインコーディネーター〉 池田 暁史 大正大学心理社会学部臨床心理学科  
〈サブコーディネーター〉 林 公輔 学習院大学文学部心理学科  
木崎 英介 医療法人財団厚生協会大泉病院

10:45~12:45 シンポジウム95

精神科が地域医療に貢献できること～コンサルテーション・リエゾンによって活かされる精神医学の経験

司会：安田 貴昭 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック  
五十嵐 友里 東京家政大学人文学部

S95-1 過度な血糖コントロールから低血糖を繰り返す1型糖尿病患者の2症例

○皆川 真哉  
皆川医院

S95-2 精神科診療所が周産期の地域医療に貢献できること  
～他科医療機関・行政機関との連携～

○生田 洋子  
クリニックおぐら

S95-3 家族往診における現状と課題

○池田 憲二  
むさしの北総クリニック小児科

S95-4 地域医療におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学の枠組み

○安田 貴昭  
埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック

S95-5 地域リエゾンに心理職が貢献できることは何か？

○五十嵐 友里<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京家政大学人文学部、<sup>2</sup>埼玉医科大学総合医療センター

〔指定発言〕

○西村 勝治  
東京女子医科大学医学部精神医学講座

〈メインコーディネーター〉 安田 貴昭 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック  
〈サブコーディネーター〉 五十嵐 友里 東京家政大学人文学部

13:15～15:15 委員会シンポジウム38 (PCN Reports編集委員会)

若手精神科医のための臨床研究事始め－症例報告からランダム化比較試験まで

司会：鈴木 道雄 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座  
明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

CS38-1 対人関係療法を複雑性PTSDに実施して改善をみた一例

○利重 裕子  
名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野

CS38-2 横断的観察研究の計画から論文化まで

○菅原 典夫  
獨協医科大学精神神経医学講座

CS38-3 せん妄予防をラメルテオンの保険適用に追加することを目指した臨床試験

○貞廣 良一、松岡 弘道  
国立研究開発法人国立がん研究センター

〔指定発言〕

○古郡 規雄  
獨協医科大学精神神経医学講座

〔指定発言〕

○岩田 仲生  
藤田保健衛生大学病院精神科

〈メインコーディネーター〉 明智 龍男 名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野  
〈サブコーディネーター〉 鈴木 道雄 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座



6月24日(土) J会場(パシフィコ横浜ノース 4F G403+G404)

8:30~10:30 シンポジウム86

精神科初期研修グレードアップ!

司会：松坂 雄亮 長崎県精神医療センター精神科  
杉原 正子 まさこ心のクリニック自由が丘

S86-1 大学病院における精神科初期研修の実際と課題

○大矢 希  
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

S86-2 「楽をする」から「楽しい」実習へ：精神医療過疎地域における総合病院の精神科教育

○岩城 弘隆<sup>1,2</sup>、今 明秀<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>八戸市立市民病院精神神経科、<sup>2</sup>八戸市立市民病院臨床研修センター、  
<sup>3</sup>八戸市立市民病院救急救命センター

S86-3 リエゾンチームを活用した研修医トレーニング

○猪狩 圭介  
麻生飯塚病院リエゾン精神科

S86-4 臨床研修における精神科単科病院の強みと課題

○松坂 雄亮<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>長崎県精神医療センター精神科、<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経科学

S86-5 自律的な学習で初期研修医のモチベーションを高める -医学教育研究者の立場から-

○佐野 樹<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>三重県立こころの医療センター、<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学研究科総合医学教育センター

〈メインコーディネーター〉 松坂 雄亮 長崎県精神医療センター精神科  
〈サブコーディネーター〉 杉原 正子 まさこ心のクリニック自由が丘  
岩城 弘隆 八戸市立市民病院精神神経科

10:45~12:45 シンポジウム96

災禍での育ち~みちのくこどもコホートから見つめる東日本大震災と新型コロナウイルス感染症パンデミック~

司会：榎屋 二郎 東京医科大学精神医学分野  
八木 淳子 岩手医科大学医学部神経精神科学講座/附属病院児童精神科

S96-1 災禍における子どもの心 ~大規模震災とパンデミック~

○榎屋 二郎<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京医科大学精神医学分野、<sup>2</sup>ふくしま子どもの心のケアセンター

S96-2 みちのくこどもコホート研究の概要と進捗状況  
-新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響を含めて-

○八木 淳子  
岩手医科大学医学部神経精神科学講座/附属病院児童精神科

S96-3 どのような支援が地域では有効なのか？

○福地 成<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東北医科薬科大学病院、<sup>2</sup>公益社団法人宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター

S96-4 長期経過の分析と今後の災害への備え

○松浦 直己

三重大学教育学部

〈メインコーディネーター〉 梶屋 二郎

東京医科大学精神医学分野

〈サブコーディネーター〉 八木 淳子

岩手医科大学医学部神経精神科学講座／  
附属病院児童精神科



## 6月24日(土) K会場(パシフィコ横浜ノース 4F G402)

8:30~10:30 シンポジウム87  
精神科診療におけるPrecisionについて

司会：齋藤 正範 北里大学医学部精神科学

### S87-1 Precisionとは何だろうか

○齋藤 正範  
北里大学医学部精神科学

### S87-2 統合失調症薬物療法の個別最適化の現状と展望

○嶽北 佳輝  
関西医科大学精神神経科

### S87-3 双極性障害と抑うつ障害群の治療における個別最適化について考える

○鈴木 映二  
東北医科薬科大学医学部精神科学教室

### S87-4 認知症診療の個別適正化を問う

○上田 諭  
東京さつきホスピタル精神科

### S87-5 神経画像を用いたprecision medicine

○中島 振一郎  
慶應義塾大学医学部精神神経科

#### 〔指定発言〕

○大野 裕  
大野研究所

〈メインコーディネーター〉 齋藤 正範 北里大学医学部精神科学

10:45~12:45 委員会シンポジウム35 (多職種協働委員会)  
多職種協働が動き出す時

司会：西松 能子 医療法人社団久響会あいクリニック神田・立正大学  
渡邊 忠義 社会医療法人あさかホスピタル

### CS35-1 ソーシャルワーカーに求められる多職種協働

○藤原 隆之  
社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院これからの暮らし支援部医療福祉相談室

### CS35-2 多職種協働のはじまりと利点

○島津 聖子  
公益財団法人浅香山病院



CS35-3 多職種協働が動き出す時～児童思春期病棟の公認心理師の立場から～

○桑原 綾乃  
のぞえの丘病院臨床心理士

CS35-4 ほっとステーションでの多職種協働の取り組みについて

○佐々木 渉  
医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

〔指定発言〕

○堀川 公平  
医療法人コミュニテ風と虹のぞえ総合心療病院

〈メインコーディネーター〉 佐久間 啓 社会医療法人あさかホスピタル  
〈サブコーディネーター〉 堀川 公平 医療法人コミュニテ風と虹のぞえ総合心療病院

13:15～15:15 シンポジウム104

これまでの千葉県精神神経科診療所協会の活動と今後の課題

司会：志津 雄一郎 志津クリニック精神科

S104-1 これまでの千葉県精神神経科診療所協会の活動と今後の課題

○岩崎 弘一<sup>1,2</sup>、志津 雄一郎<sup>2,5</sup>、大塚 芳克<sup>2,4</sup>、織田 辰郎<sup>2,3</sup>、西尾 正人<sup>2,6</sup>  
<sup>1</sup>いやしのメンタルクリニック誉田、<sup>2</sup>千葉県精神神経科診療所協会、<sup>3</sup>高洲公園心療医院、  
<sup>4</sup>こころクリニック船橋、<sup>5</sup>志津クリニック、<sup>6</sup>鎌取メンタルクリニック

〔指定発言〕

○西尾 正人  
千葉県精神神経科診療所協会

〔指定発言〕

○織田 辰郎  
千葉県精神神経科診療所協会

〈メインコーディネーター〉 志津 雄一郎 志津クリニック精神科  
〈サブコーディネーター〉 大塚 芳克 千葉県精神神経科診療所協会



## 6月24日(土) L会場(パシフィコ横浜ノース 4F G401)

8:30~10:10 **ワークショップ9** (精神神経学雑誌編集委員会)

精神神経学雑誌に掲載される論文の書き方(研究計画と統計について)

司会：谷井 久志 三重大学保健管理センター  
山田 和男 東北医科薬科大学病院精神科

WS9 〈講演者〉 忽滑谷 和孝 東京慈恵会医科大学附属柏病院精神神経科  
奥村 泰之 一般社団法人臨床疫学研究推進機構  
福地 成 東北医科薬科大学精神科学教室  
樋口 早子 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈メインコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学  
〈サブコーディネーター〉 細田 眞司 こころの診療所細田クリニック

10:45~12:25 **ワークショップ10** (精神療法委員会)

映像で学ぶ初診面接-「死にたい」と訴える患者編-

司会：新宮 一成 京都産業大学  
水野 雅文 東京都立松沢病院

WS10 〈講演者〉 菊地 俊暁 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室  
白波瀬 丈一郎 東京都済生会中央病院健康デザインセンター  
渡辺 俊之 渡辺医院/高崎西口精神療法研修室  
中村 伸一 中村心理療法研究室クボタクリニック  
田中 裕記 国立病院機構九州医療センター精神神経科

〈メインコーディネーター〉 中村 伸一 中村心理療法研究室クボタクリニック  
〈サブコーディネーター〉 田中 裕記 国立病院機構九州医療センター精神神経科

13:15~15:15 **シンポジウム105**

統合失調症の睡眠研究の現在 -最近のトピックスと臨床への展開-

司会：小曾根 基裕 久留米大学病院精神神経科  
鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系

S105-1 統合失調症でみられる睡眠の問題と臨床経過との関連

○金子 宜之、斎藤 かおり、大槻 怜、藤井 伸邦、早乙女 優太、鈴木 正泰  
日本大学医学部精神医学系精神医学分野

S105-2 統合失調症に生じる睡眠・覚醒リズム障害

○松井 健太郎  
国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部

S105-3

統合失調症における睡眠紡錘波異常の病態的意義と今後の展望

○水木 慧<sup>1</sup>、小曾根 基裕<sup>1</sup>、小鳥居 望<sup>2</sup>、内村 直尚<sup>1</sup>

<sup>1</sup>久留米大学神経精神医学講座、<sup>2</sup>医療法人仁祐会小鳥居諫早病院

S105-4

統合失調症の不眠に対する認知行動療法と生活指導

○伊豆原 宗人

国立精神・神経医療研究センター臨床検査部

〈メインコーディネーター〉 鈴木 正泰 日本大学医学部精神医学系

〈サブコーディネーター〉 小曾根 基裕 久留米大学病院精神神経科

金子 宜之 日本大学医学部精神医学系精神医学分野



## 6月24日(土) M会場(パシフィコ横浜ノース 4F G411)

8:30~10:30 シンポジウム88  
一次性的妄想の内包と外延

司会：岡 一太郎      もみじヶ丘病院医局  
古茶 大樹      聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

### S88-1 慢性統合失調症の妄想着想について

○岡 一太郎  
もみじヶ丘病院医局

### S88-2 妄想の類型化について

○古茶 大樹  
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

### S88-3 妄想の記述的特徴をめぐって

○熊崎 努  
東京農工大学保健管理センター

### S88-4 妄想知覚の今日的意義

○前田 貴記  
慶應義塾大学医学部精神神経科

〈メインコーディネーター〉 岡 一太郎      もみじヶ丘病院医局

10:45~12:45 シンポジウム97  
地域創りは長期在院者の退院支援から

司会：高橋 恵      北里大学北里研究所病院  
加瀬 昭彦      医療法人積愛会横浜舞岡病院

### S97-1 地域精神医学農村型の展開長期在院患者と地域から考える

○土田 正一郎  
俱知安厚生病院精神神経科

### S97-2 十勝・帯広地域での退院支援と地域づくり

○門屋 充郎  
NPO法人十勝障がい者支援センター

### S97-3 アセスメント、動機付け、持続する精神疾患と行動変容

○浅見 隆康  
群馬大学健康支援総合センター昭和健康支援室

### S97-4 先端技術であるVR(バーチャルリアリティ)を活用したソーシャルスキルトレーニング

○外川 大希  
株式会社ジョリーグッドDTx事業部

S97-5 退院支援に必要なケアマネジメントの理念と実践

○植田 俊幸

鳥取県立厚生病院精神科

〈メインコーディネーター〉 浅見 隆康

群馬大学健康支援総合センター昭和健康支援室

〈サブコーディネーター〉 高橋 恵

北里大学北里研究所病院

植田 俊幸

鳥取県立厚生病院精神科

13:15～15:15 シンポジウム106

学校や地域での子どもたちのこころの状態、支援と連携システム

司会：中村 和彦

弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

S106-1 小・中学生の学校コホートによる子どもたちのこころの状態について

○中村 和彦

弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座

S106-2 子どもたちから得られた心理面の客観的指標を活かすための地域における連携システム

○榎屋 二郎

東京医科大学精神医学分野

S106-3 WEBでの子どものストレスチェックと認知行動療法の活用によるメンタルヘルス問題への対処

○清水 栄司

千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学・子どものこころの発達教育研究センター

S106-4 福島県における東日本大震災後の被災した子どもたちへの支援  
ー県民健康調査「ここから調査」よりー

○板垣 俊太郎<sup>1,2</sup>、矢部 博興<sup>1,2</sup>、前田 正治<sup>2</sup>、大平 哲也<sup>2</sup>、安村 誠司<sup>2</sup>、神谷 研二<sup>2</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、<sup>2</sup>福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

〈メインコーディネーター〉 中村 和彦

弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座



6月24日(土) N会場(パシフィコ横浜ノース 4F G412+G413)

8:30~10:30 委員会シンポジウム31 (地域ケアにおける自立支援のあり方検討委員会)  
地域ケアにおいて求められるアウトリーチ支援を考える

司会：藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
林 輝男 清和会西川病院診療部

CS31-1 精神科領域におけるアウトリーチ支援の重要性

○藤井 千代  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

CS31-2 精神科医療機関におけるアウトリーチ：医療・福祉・保健の一体的運用に向けて

○林 輝男  
社会医療法人清和会西川病院

CS31-3 地域ケアにおいて求められるアウトリーチ支援を考える～精神科診療所の立場から

藤井 千代<sup>2</sup>、○上ノ山 一寛<sup>1</sup>、林 輝男<sup>3</sup>、太田 順一郎<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>医療法人南彦根クリニック、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、  
<sup>3</sup>社会医療法人清和会西川病院、<sup>4</sup>岡山市こころの健康センター

CS31-4 精神保健福祉センターのアウトリーチ支援活動

○太田 順一郎  
岡山市こころの健康センター

〔指定発言〕

○廣江 仁  
社会福祉法人養和会

〔指定発言〕

○二飯田 真由美  
川口市保健所

〈メインコーディネーター〉 藤井 千代 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部  
〈サブコーディネーター〉 林 輝男 清和会西川病院診療部

10:45～12:45 シンポジウム98

統合失調症の外来治療の今後について考える

司会：窪田 幸久 中央公園クリニック  
渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

S98-1 統合失調症の外来治療の今後について考える～精神科診療所の立場から

渡邊 衡一郎<sup>2</sup>、○上ノ山 一寛<sup>1</sup>、竹内 啓善<sup>3</sup>、阿瀬川 孝治<sup>4</sup>、渡邊 博幸<sup>5</sup>、藤井 千代<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>医療法人南彦根クリニック、<sup>2</sup>杏林大学医学部付属病院、<sup>3</sup>慶應義塾大学病院、  
<sup>4</sup>医療法人三精会汐入メンタルクリニック、<sup>5</sup>千葉大学医学部附属病院精神神経科、  
<sup>6</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S98-2 世界の統合失調症外来診療

○竹内 啓善  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S98-3 統合失調症の外来治療で浮かぶ臨床疑問と多施設調査研究への期待

○阿瀬川 孝治  
汐入メンタルクリニック精神科

S98-4 単科精神科病院での統合失調症外来診療

○渡邊 博幸  
学会会木村病院

S98-5 統合失調症の外来治療はどうあるべきか 政策面から

○藤井 千代  
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部

〔指定発言〕

○堀合 研二郎  
横浜ピアスタッフ協会

〈メインコーディネーター〉 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室

13:15～15:15 シンポジウム107

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)罹患後精神症状と精神保健施設における対応

司会：中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学  
高橋 晶 筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

S107-1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)罹患後精神症状の現在までの文献からの考察

○高橋 晶<sup>1,2,3</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、<sup>2</sup>茨城県立こころの医療センター、  
<sup>3</sup>筑波メディカルセンター病院精神科



S107-2 新型コロナウイルス感染症罹患後における精神症状の発生状況

○福田 治久  
九州大学大学院医学研究院

S107-3 コロナ罹患後症状に対する地域の精神保健における対応の現状

○萱間 真美  
国立看護大学校

S107-4 オンラインメンタルヘルスケアシステム「KOKOROBO」の概要と社会的実装にむけた課題

○村山 桂太郎  
九州大学病院

〔指定発言〕

○中尾 智博  
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

〈メインコーディネーター〉 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院精神病態医学  
〈サブコーディネーター〉 村山 桂太郎 九州大学大学院医学研究院精神病態医学



## 6月24日(土) O会場(パシフィコ横浜ノース 4F G414+G415)

8:30～10:30 シンポジウム89  
 ストーカー加害者への治療的介入

司会：長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

### S89-1 北海道警察の受診勧奨によりつながったストーカー事例について

○長谷川 直実  
 医療法人社団ほっとステーション大通公園メンタルクリニック

### S89-2 ストキングの病態と重症例に必須の条件反射制御法

○平井 慎二  
 独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

### S89-3 ストーカーの重症度による対応法の差異、それによる高い改善率

○小早川 明子  
 NPOヒューマニティ

### S89-4 警察におけるストーカー加害者に関する取組について

○太田尾 磨  
 警察庁人身安全・少年課

〈メインコーディネーター〉 長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション大通公園  
 メンタルクリニック

10:45～12:45 シンポジウム99  
 全国の精神保健福祉センターにおける自殺予防の取り組み

司会：田中 治 青森県立精神保健福祉センター  
 大塚 耕太郎 岩手医科大学神経精神科学講座

### S99-1 川崎市におけるCOVID-19流行の自殺対策への影響

○竹島 正<sup>1</sup>、橋本 貢河<sup>1</sup>、木下 直美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター、  
<sup>2</sup>川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健課

### S99-2 自殺対策としての警察官通報措置移送業務～群馬県からの報告～

○佐藤 浩司、大館 実穂、草野 健祐、三浦 侑乃  
 群馬県こころの健康センター

### S99-3 滋賀県における県・市等が連携・協力した自殺対策

○辻本 哲士  
 滋賀県立精神保健福祉センター



S99-4 岡山市におけるこころの健康に関する市民意識調査  
－相談先の選択とストレスコーピングにおける性差－

○太田 順一郎  
岡山市こころの健康センター

S99-5 教員養成課程からの精神保健および自殺予防教育の必要性  
－浜松市の教員調査からの提言

○二宮 貴至<sup>1</sup>、奥村 明美<sup>2</sup>、土屋 賢治<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>浜松市精神保健福祉センター、<sup>2</sup>浜松医科大学子どもこころの発達研究センター、

<sup>3</sup>大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所

S99-6 持続可能な自死遺族支援に向けた横浜市の取り組み

○白川 教人、佐々木 祐子  
横浜市こころの健康相談センター

〔指定発言〕

○原田 豊  
鳥取県立精神保健福祉センター

〈メインコーディネーター〉 田中 治 青森県立精神保健福祉センター

〈サブコーディネーター〉 太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

13:15～15:15 シンポジウム108

マイクロアグレッションの理解と克服～精神医療の向上と共生社会の実現のために

司会：渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科  
内田 千代子 星槎大学大学院教育実践研究科

S108-1 日本女性の立場をマイクロアグレッションに注目して考える

○内田 舞  
マサチューセッツ総合病院精神科

S108-2 SNS空間でのジェンダーに関わるマイクロアグレッションについて、  
フェミニズムの知見からの問題提起

○田中 東子  
東京大学大学院情報学環

S108-3 LGBT当事者として、心理学者としてマイクロアグレッションを考える：  
クリニカル・バイアスの危険性

○梅宮 れいか  
福島学院大学大学院心理学研究科

S108-4 日常臨床でのマイクロアグレッションへの気づきと対応

○内田 千代子<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>星槎大学大学院教育実践研究科、<sup>2</sup>東京都医学総合研究所

〔指定発言〕

○糸川 昌成

東京都医学総合研究所病院等連携研究センター

〔指定発言〕

○大川 匡子

公益財団法人神経研究所睡眠健康推進機構

〈メインコーディネーター〉 内田 千代子 星槎大学大学院教育実践研究科

〈サブコーディネーター〉 加茂 登志子 若松町ころとひふのクリニックメンタルケア科  
PCIT 研修センター



## 6月24日(土) P会場(パシフィコ横浜ノース 4F G416+G417)

8:30~10:30 シンポジウム90

精神科における臨床神経病理カンファレンスとその意義

司会：入谷 修司 桶狭間病院藤田こころケアセンター附属脳研究所附属脳研究所  
河上 緒 順天堂大学医学部大学院精神医学講座

### S90-1 稀なゲノム変異を有する統合失調症の脳病理は？

○鳥居 洋太  
名古屋大学医学部附属病院精神科

### S90-2 双極性障害の病態解明への神経病理学的アプローチ

○関口 裕孝  
桶狭間病院藤田こころケアセンター

### S90-3 アルコール依存症・アルコール精神病の脳病理

○池田 研二<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>東京都医学総合研究所・認知症プロジェクト、<sup>2</sup>東京都立松沢病院

### S90-4 Anorexia Nervosaの神経病理学的研究

○梅田 健太郎  
都立松沢病院精神科

### S90-5 高齢者の不安と身体愁訴の臨床病理学的検討

○藤城 弘樹、荒深 周生  
名古屋大学医学部附属病院精神科

#### 〔指定発言〕

○新井 哲明  
筑波大学精神科

〈メインコーディネーター〉 入谷 修司 桶狭間病院藤田こころケアセンター附属脳研究所  
附属脳研究所

〈サブコーディネーター〉 河上 緒 順天堂大学医学部大学院精神医学講座

## 10:45~12:45 委員会シンポジウム36 (アンチスティグマ委員会)

「精神疾患の予防と回復」高等学校教科書掲載1年後の現状と課題

司会：鈴木 道雄 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座  
渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科

### CS36-1 精神疾患の伝え方—高校教育と医療の連携

○安藤 久美子  
聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

CS36-2 ラジオと映画で伝える障害者の日常

○和島 香太郎  
映画監督、脚本家

CS36-3 高等学校「保健」における精神疾患の授業の現状と課題

○綱島 毅  
群馬県教育委員会健康体育課

CS36-4 教科書掲載以前の日本の高校生の精神疾患に対する知識とメンタルヘルスリテラシー

○小口 芳世  
聖マリアンナ医科大学病院

〔指定発言〕

○高橋 秀俊  
高知大学医学部附属病院

〈メインコーディネーター〉 小口 芳世 聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室  
〈サブコーディネーター〉 渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科

13:15～15:15 シンポジウム109

精神科における“身体的”リハビリテーションの現状と今後の課題

司会：橋本 学 国立病院機構肥前精神医療センター精神科・リハビリテーション科  
平川 淳一 医療法人社団光生会平川病院

S109-1 精神科における“身体的”リハビリテーションと現状と問題点

○橋本 学  
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

S109-2 リハビリテーション科専門医からみた精神科におけるリハビリテーション医療

○松嶋 康之<sup>1,2</sup>、蜂須賀 明子<sup>1</sup>、佐伯 覚<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>産業医科大学医学部リハビリテーション医学、<sup>2</sup>産業医科大学若松病院リハビリテーション科

S109-3 精神科における“身体的”リハビリテーションのシステム構築と実践

○平川 淳一  
医療法人社団光生会平川病院

S109-4 精神科患者に対する“身体的”リハビリテーションー精神科病院セラピストの立場からー

○塚原 宏恵  
独立行政法人国立病院機構菊池病院



S109-5

精神科患者に対する“身体的”リハビリテーション—一般病院セラピストの立場から—

○田中 成和<sup>1</sup>、塚原 宏恵<sup>2</sup>、橋本 学<sup>3</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センターリハビリテーション科、

<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構菊池病院、<sup>3</sup>独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター精神科

〈メインコーディネーター〉 橋本 学 国立病院機構肥前精神医療センター精神科・

リハビリテーション科

〈サブコーディネーター〉 平川 淳一 医療法人社団光生会平川病院

6月24日(土) Q会場(パシフィコ横浜ノース 4F G418+G419)

8:30～9:42 一般演題(口演) 20  
統合失調症(3)

司会: 太田 克也 恩田第二病院

3-O20-1 初回エピソード精神病(FEP)に関する36ヶ月間のカルテ調査  
ー持効性注射製剤(LAI)の投与状況と転帰ー

○田中 康平

地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院診療部

3-O20-2 持続性抗精神病注射薬剤(LAI)と経口抗精神病薬の併用薬の状況:  
日本における実態調査

○鬼塚 俊明<sup>1</sup>、岡田 剛史<sup>2</sup>、長谷川 尚美<sup>3</sup>、坪井 貴嗣<sup>4</sup>、伊賀 淳一<sup>5</sup>、古郡 規雄<sup>6</sup>、  
山田 直輝<sup>7</sup>、堀 輝<sup>8</sup>、村岡 寛之<sup>9</sup>、大井 一高<sup>10</sup>、小笠原 一能<sup>11</sup>、越智 紳一郎<sup>5</sup>、  
竹島 正浩<sup>12</sup>、市橋 香代<sup>13</sup>、福本 健太郎<sup>14</sup>、飯田 仁志<sup>8</sup>、山田 恒<sup>3,15</sup>、降旗 隆二<sup>16</sup>、  
牧之段 学<sup>17</sup>、高江洲 義和<sup>18</sup>、沼田 周助<sup>7</sup>、小松 浩<sup>19</sup>、菱本 明豊<sup>20</sup>、木戸 幹雄<sup>21,22</sup>、  
阿竹 聖和<sup>23</sup>、山形 弘隆<sup>24</sup>、菊地 紗耶<sup>19</sup>、橋本 直樹<sup>25</sup>、宇佐美 政英<sup>26</sup>、勝元 榮一<sup>27</sup>、  
浅見 剛<sup>19</sup>、久保田 智香<sup>28</sup>、松本 純弥<sup>3</sup>、三浦 健一郎<sup>3</sup>、平野 羊嗣<sup>29,30</sup>、渡邊 衡一郎<sup>4</sup>、  
稲田 健<sup>9</sup>、橋本 亮太<sup>3</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院医学研究院神経画像解析学講座、<sup>2</sup>自治医科大学精神医学講座、

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

<sup>4</sup>杏林大学医学部精神神経科学教室、<sup>5</sup>愛媛大学大学院精神神経科学講座、

<sup>6</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、<sup>7</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、

<sup>8</sup>福岡大学精神医学教室、<sup>9</sup>北里大学医学部精神科学、<sup>10</sup>岐阜大学医学部附属病院精神科、

<sup>11</sup>名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター、

<sup>12</sup>秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座、<sup>13</sup>東京大学医学部附属病院精神神経科、

<sup>14</sup>岩手医科大学神経精神科学講座、<sup>15</sup>兵庫医科大学精神科神経科学、<sup>16</sup>京都大学学生総合支援機構、

<sup>17</sup>奈良県立医科大学精神医学講座、<sup>18</sup>琉球大学大学院精神病態医学講座、<sup>19</sup>東北大学病院精神科、

<sup>20</sup>横浜市立大学医学部精神医学、<sup>21</sup>木戸クリニック、<sup>22</sup>富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、

<sup>23</sup>NTT西日本九州健康管理センター、<sup>24</sup>山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座、

<sup>25</sup>北海道大学精神医学教室、<sup>26</sup>国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科、

<sup>27</sup>かつもとメンタルクリニック、<sup>28</sup>国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、

<sup>29</sup>宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野、<sup>30</sup>九州大学病院精神科神経科

3-O20-3 持続性注射剤による修正型電気けいれん療法反応後の維持療法

○今井 智之<sup>1</sup>、諸岡 慎士<sup>1</sup>、佐藤 英明<sup>1</sup>、島本 祐希<sup>1</sup>、高島 諒<sup>1</sup>、荻野 肅<sup>1</sup>、吉富 碧<sup>1</sup>、  
新井 琴子<sup>1</sup>、佐々木 博之<sup>1</sup>、本田 和揮<sup>1</sup>、宮川 雄介<sup>1</sup>、朴 秀賢<sup>2</sup>、竹林 実<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>熊本大学病院神経精神科、<sup>2</sup>熊本大学大学院生命科学研究所神経精神医学講座

3-O20-4 大学病院における持効性抗精神病薬注射製剤導入検討外来の開設

○小口 芳世

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室



3-O20-5

**ドパミン過感受性精神病に対するm-ECT後のLAI導入の有効性**

○西本 雅彦、富山 恵一郎、小坂 淳、渡邊 俊太郎、小川 理世、高津 圭介、  
本杉 太一、黒岩 隆

医療法人社団青木末次郎記念会相州病院医局

3-O20-6

**統合失調症として治療され、先天性心疾患や特徴的顔貌を欠くものの、  
22q11.2欠失症候群と診断された一例**

○松山 光一<sup>1,2</sup>、金原 信久<sup>3</sup>、阿久津 実彩<sup>4</sup>

<sup>1</sup>千葉大学医学部附属病院精神神経科、<sup>2</sup>医療法人同和会千葉病院、

<sup>3</sup>千葉大学社会精神保健教育研究センター、<sup>4</sup>千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学

9:42~10:54

**一般演題（口演）21**

**児童思春期及び摂食障害**

司会：橘 真澄

千葉大学総合安全衛生管理機構

3-O21-1

**子どもの攻撃性と反社会的行動の測定～DBD-RS日本語版の検討**

○石橋 佐枝子<sup>1,2</sup>、西山 毅<sup>3</sup>、鈴木 太<sup>4</sup>、牧野 拓也<sup>5</sup>、中道 秀尚<sup>6</sup>、東 琢磨<sup>5</sup>、  
飯田 知子<sup>7</sup>、倉田 佐和<sup>4,8</sup>、濱村 尚子<sup>4,8</sup>、渡真利 真治<sup>5</sup>、今成 英司<sup>5</sup>、福元 進太郎<sup>5</sup>、  
木村 拓磨<sup>9</sup>、小坂 浩隆<sup>5</sup>

<sup>1</sup>敦賀市立看護大学看護学部、<sup>2</sup>福井大学大学院医学系研究科精神医学、

<sup>3</sup>名古屋市立大学大学院医学系研究科公衆衛生学、<sup>4</sup>福井大学子どものこころの発達研究センター、

<sup>5</sup>福井大学医学部精神医学、<sup>6</sup>こころとからだクリニック福井、<sup>7</sup>新潟県立新発田病院、

<sup>8</sup>福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部、<sup>9</sup>名古屋経営短期大学子ども学科

3-O21-2

**米国発祥の訪問型虐待防止プログラムSafeCare<sup>®</sup>の概要と今後の日本での  
展開について**

○近藤 強<sup>1</sup>、山岡 祐衣<sup>2</sup>

<sup>1</sup>チヨダクリニック精神科、児童精神科、<sup>2</sup>東京医科歯科大学病院

3-O21-3

**不明熱との関連が示唆された思春期うつ病の1例**

○佐々木 博之<sup>1</sup>、城野 匡<sup>2</sup>、朴 秀賢<sup>1,3</sup>、竹林 実<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>熊本大学病院神経精神科、<sup>2</sup>熊本学園大学社会福祉学部、

<sup>3</sup>熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

3-O21-4

**医療機関を受診した不登校の中学生における卒業後の転帰**

○中島 望、長谷部 真歩、三澤 史斉

山梨県立北病院精神科

3-O21-5

**食生活管理アプリ「たべ活ちゃん」を用いた神経性やせ症患者の2症例**

○撫井 章弘、山内 常生、原田 朋子、宮本 沙緒里、大原 直樹、本多 美穂子、松塚 巧、  
井上 幸紀

大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学



3-O21-6 過食症に対する亜鉛・L-カルノシン錯体ポラプレジンの効果と本症における亜鉛欠乏の関与

○榮 兼作<sup>1,2</sup>、須賀 万智<sup>2</sup>、柳澤 裕之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人慶榮会八潮病院精神科、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学環境保健医学講座

10:54～11:54 一般演題（口演）22  
発達障害（1）

司会：小坂 浩隆 福井大学医学部精神医学

3-O22-1 長時間作用型メチルフェニデートが著効した成人期ADHDに併発した神経性大食症の2例

○太田 健介

医療法人耕仁会札幌太田病院

3-O22-2 自閉症スペクトラム障害に良性小児てんかんが併発した同胞3例の遺伝子変異解析

○有村 尚也<sup>1</sup>、笠毛 溪<sup>1</sup>、松永 愛香<sup>2</sup>、佐々木 なつき<sup>1</sup>、浦田 結嘉<sup>1</sup>、新井 薫<sup>1</sup>、  
佐野 のぞみ<sup>2</sup>、佐野 輝<sup>3</sup>、中村 雅之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野、<sup>2</sup>国立病院機構南九州病院、<sup>3</sup>鹿児島大学

3-O22-3 低体重出生のASD(ADHD)群と正常体重出生ASD(ADHD)群との2群比較

○大野 泰裕<sup>1,3</sup>、河合 恵太<sup>2,3</sup>、長塚 雄大<sup>3</sup>、岩見 有里子<sup>1,3</sup>、花輪 洋一<sup>1,3</sup>、西尾 崇志<sup>1,3</sup>、  
中村 善文<sup>1,3</sup>、鈴木 洋久<sup>1,3</sup>、太田 晴久<sup>1,3,4</sup>、加藤 進昌<sup>3,4</sup>、岩波 明<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>昭和大学附属烏山病院、<sup>2</sup>昭和大学横浜市北部病院、<sup>3</sup>昭和大学医学部精神医学講座、  
<sup>4</sup>昭和大学発達障害医療研究所

3-O22-4 老年期にはじめて気づかれる発達障害とそのプロフィールについて

○長塚 雄大<sup>1,2,3</sup>、太田 晴久<sup>1,2,4</sup>、鈴木 洋久<sup>1,2</sup>、西尾 崇志<sup>1,2</sup>、中村 善文<sup>1,2</sup>、花輪 洋一<sup>1,2</sup>、  
岩見 有里子<sup>1,2</sup>、山田 真理<sup>1,2</sup>、大野 泰裕<sup>1,2</sup>、岩波 明<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>昭和大学精神医学講座、<sup>2</sup>昭和大学附属烏山病院、<sup>3</sup>医療法人社団正史会大和病院、  
<sup>4</sup>昭和大学発達障害医療研究所

3-O22-5 成人期における注意欠如・多動症の診断とWAIS-IVの関連

○倉田 孝一、坂井 尚登

社会医療法人財団松原愛育会松原病院医療部



13:15～15:15 委員会シンポジウム39 (アンチスティグマ委員会)

こころのサポーター普及を目指す ～地域での早期支援・アンチスティグマ活動～

司会：大矢 希  
長 徹二

京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科  
一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん臨床教育センター

CS39-1 「こころの病気」に対してできることを多くの人に知ってほしい  
～「ここサポ」養成事業への期待～

○入来 晃久  
大阪精神医療センター

CS39-2 啓発活動の重要性とアンチスティグマ研究

○倉持 泉  
埼玉医科大学総合医療センター

CS39-3 こころサポーター養成事業を地域の中に

○西邑 章  
京都府中丹東保健所福祉課

CS39-4 知って欲しいメンタルヘルスの不調と回復 ～繋がっていくアンチスティグマ～

○内布 智之  
日本メンタルヘルスパイアサポート専門員研修機構

〔指定発言〕

○内布 智之  
当事者

〈メインコーディネーター〉 大矢 希  
〈サブコーディネーター〉 長 徹二

京都府立医科大学附属病院精神科・心療内科  
一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん  
臨床教育センター

6月24日(土) ポスター会場(パシフィコ横浜ノース 1F G1～G4)

8:30～9:20 一般演題(ポスター) 16  
児童思春期関連

司会：高橋 純平 千葉市立青葉病院児童精神科

3-P16-1 子どもの虐待の世代間伝達について、米国文献等を参照した考察(第2報)

○鷺山 拓男  
とよたまこころの診療所

3-P16-2 思春期における自立のテーマと家庭内葛藤に起因した転換性障害の一例

○鍋山 豊久<sup>1</sup>、吹田 恭子<sup>1</sup>、小原 奈美<sup>1</sup>、大樂 良和<sup>1</sup>、石津 宏<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人愛命会泉原病院、<sup>2</sup>琉球大学名誉教授

3-P16-3 発達障害と愛着障害の呈する言動の鑑別についての検討

○稲垣 卓司<sup>1</sup>、和氣 玲<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>島根大学教育学部特別支援教育専攻、<sup>2</sup>島根大学人間科学部

3-P16-4 自然災害を経験した子どもの心的外傷後ストレス障害に対する介入の  
スコーピングレビュー

○岸本 真希子、黒神 経彦、鈴木 博道、小河 邦雄、小枝 達也  
国立研究開発法人国立成育医療研究センター

3-P16-5 Child Psychosis-risk Screening System(CPSS)の診断特異性  
ー神経発達障害との鑑別に役立つ

○濱崎 由紀子<sup>1,5</sup>、阪上 由子<sup>2</sup>、松尾 雅博<sup>3</sup>、眞田 陸<sup>3</sup>、上羽 智子<sup>4</sup>、中山 貴夫<sup>1</sup>、  
道越 秀吾<sup>1</sup>、疋田 貴俊<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>京都女子大学現代社会学部、<sup>2</sup>滋賀医科大学医学部小児科学講座、  
<sup>3</sup>滋賀医科大学医学部精神医学講座、<sup>4</sup>済生会守山市民病院小児科、<sup>5</sup>医療法人藤樹会滋賀里病院、  
<sup>6</sup>大阪大学蛋白質研究所高次脳機能学研究室

8:30～9:20 一般演題(ポスター) 17  
心理社会産業精神医学

司会：桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック

3-P17-1 在日コリアンのメンタルヘルスに関するアンケート調査

○金 泰泳  
東洋大学社会学部

3-P17-2 公認心理師養成カリキュラムにおける心理実習・実践実習での産業精神医学の実践例

○中野 倫仁<sup>1</sup>、森 伸幸<sup>1</sup>、本谷 亮<sup>1</sup>、河田 祐輔<sup>2</sup>、浦田 昇龍<sup>2</sup>、芦澤 健<sup>2</sup>、佐藤 正俊<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北海道医療大学心理科学部臨床心理学科、<sup>2</sup>資生会千歳病院



- 3-P17-3 **ストレス関連性精神疾患モデルラットが示す社会的回避行動と睡眠パラメータの相関解析**  
○松田 芳樹<sup>1</sup>、小澤 信幸<sup>1</sup>、篠崎 たき子<sup>1</sup>、榛葉 俊一<sup>1,2</sup>、楯林 義孝<sup>3</sup>、本多 真<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>公益財団法人東京都医学総合研究所睡眠プロジェクト、<sup>2</sup>静岡済生会総合病院精神科、<sup>3</sup>医療法人社団東京愛成会メンタルクリニックおぎくぼ

- 3-P17-4 **おとなの発達障害入院治療プログラムの試み**  
○枝 雅俊<sup>1</sup>、長沼 陸雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>北海道立緑ヶ丘病院精神科、<sup>2</sup>十勝むつみのクリニック

- 3-P17-5 **リワークプログラム利用者における時系列に着目した病態の差異に関する検討**  
○桂川 修一<sup>1</sup>、小山 文彦<sup>1,2</sup>、松崎 淳人<sup>1</sup>、林 果林<sup>1</sup>、前田 隆光<sup>2</sup>、松田 由美江<sup>2</sup>、海保 知宏<sup>2</sup>、小林 宏美<sup>2</sup>、池内 綾香<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック、<sup>2</sup>東邦大学医療センター佐倉病院産業精神保健・職場復帰支援センター

8:30~9:20 **一般演題（ポスター）18**  
コンサルテーションリエゾン・睡眠障害(2)

司会：金子 宜之 日本大学医学部精神医学系精神医学分野

- 3-P18-1 **生体肝移植ドナーの精神科診察**  
○浅野 聡子<sup>1</sup>、田村 恵美<sup>2</sup>、井原 欣幸<sup>2</sup>、水田 耕一<sup>2</sup>、渡邊 明子<sup>3</sup>、齋藤 美和<sup>3</sup>、野田 敦子<sup>3</sup>、新村 兼康<sup>4</sup>、三澤 仁<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>さいたま赤十字病院心療科、<sup>2</sup>埼玉県立小児医療センター移植外科、<sup>3</sup>さいたま赤十字病院看護部、<sup>4</sup>さいたま赤十字病院外科

- 3-P18-2 **総合病院における統合失調症の身体合併症治療への精神科的支援の状況について**  
○井田 逸朗、山崎 雄高、石井 あかね  
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター精神科

- 3-P18-3 **進行期子宮内膜癌患者におけるリチウム中毒による意識障害の1例**  
○夏山 知也<sup>1</sup>、岡本 直通<sup>1</sup>、赤路 悠<sup>2</sup>、星野 香<sup>2</sup>、池ノ内 篤子<sup>1,3</sup>、吉村 玲児<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>産業医科大学精神医学教室、<sup>2</sup>産業医科大学産科婦人科学教室、<sup>3</sup>産業医科大学病院認知症疾患医療センター

- 3-P18-4 **Restless genital syndromeの2症例：症例報告と文献レビュー**  
○大森 佑貴<sup>1,2</sup>、松井 仁美<sup>1,3</sup>、片岡 宗子<sup>1,3</sup>、清水 真央<sup>1,3</sup>、保田 竜太郎<sup>1,3</sup>、古田 光<sup>1,3</sup>  
<sup>1</sup>東京都健康長寿医療センター精神科、<sup>2</sup>医療法人社団大坪会小石川東京病院、<sup>3</sup>東京医科歯科大学精神科

- 3-P18-5 **外傷患者における抗潰瘍薬のせん妄に対する影響**  
○祖川 倫太郎<sup>1</sup>、松岡 綾華<sup>2</sup>、村川 徹<sup>3</sup>、橘川 奈生<sup>1</sup>、加茂 真宏<sup>1</sup>、飛田 修康<sup>1</sup>、品田 公太<sup>2</sup>、溝口 義人<sup>3</sup>、門司 晃<sup>3,4</sup>、阪本 雄一郎<sup>2</sup>、島ノ江 千里<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>佐賀大学医学部附属病院薬剤部、<sup>2</sup>佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター、<sup>3</sup>佐賀大学医学部附属病院精神医学講座、<sup>4</sup>医療法人慈光会若久病院

3-P18-6 **せん妄の遷延に関連する因子は何か？**

○木村 彩乃、竹林地 郁、皆尾 望、李大賢、川下 芳雄、和田 健  
広島市立広島市民病院精神科

8:30～9:20 **一般演題（ポスター）19**  
**器質性精神疾患及びてんかん**

司会：坪井 貴嗣 杏林大学医学部精神神経科学教室

3-P19-1 **感染性辺縁系脳炎後に10年間の逆行性健忘と認知機能障害、海馬萎縮を呈した1例**

○岡本 直通<sup>1</sup>、池ノ内 篤子<sup>1,2</sup>、清水 少一<sup>3</sup>、井手 智<sup>4</sup>、チバタール エンヘルム<sup>1</sup>、  
吉村 玲児<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学医学部精神医学教室、<sup>2</sup>産業医科大学病院認知症センター、  
<sup>3</sup>産業医科大学医学部免疫学・寄生虫学、<sup>4</sup>産業医科大学医学部放射線科学講座

3-P19-2 **精神科で発見された、肝不全を伴わない高アンモニア血症の3症例**

○許 全利、嶽北 佳輝、木下 利彦  
関西医科大学医学部精神神経科学講座

3-P19-3 **精神科医療における成人発症Ⅱ型シトルリン血症の実態調査研究(一次調査報告)**

○許 全利<sup>1</sup>、嶽北 佳輝<sup>1</sup>、朝日 結実子<sup>2</sup>、内山 和久<sup>3</sup>、西澤 友宏<sup>2</sup>、加藤 正樹<sup>1</sup>、  
木下 利彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学医学部精神神経科学講座、<sup>2</sup>第一三共株式会社スペシャルティ第一研究所、  
<sup>3</sup>第一三共株式会社臨床開発第三部

3-P19-4 **一過性てんかん性健忘(TEA発作)：臨床的分類の試み**

○鷓飼 克行<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>総合上飯田第一病院老年精神科、<sup>2</sup>名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

3-P19-5 **幻視、変形視、記憶力低下を初発症状に、後に意識減損を呈した、  
高齢者てんかんの1例**

○栗栖 猛<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>社会医療法人三上会東香里第二病院精神科、<sup>2</sup>社会医療法人三上会東香里病院精神科

9:30～10:20 **一般演題（ポスター）20**  
**統合失調症(2)**

司会：榎屋 二郎 東京医科大学精神医学分野

3-P20-1 **治療抵抗性very early onset Schizophrenia(VEOS)にclozapineが奏功した一例**

○坂本 奈緒、植木 悠介、神菌 淳司、梶原 眞理、山田 茂人、大治 太郎  
社会医療法人聖ルチア会聖ルチア病院



3-P20-2 長期入院している治療抵抗性統合失調症患者に対するclozapineの有用性

○水野 謙太郎、水野 恵三子  
若草病院精神科

3-P20-3 クロザピンが処方可能な施設体制と治療抵抗性の検討が統合失調症の抗精神病薬単剤治療に関連する

○越智 紳一郎<sup>1</sup>、小高 文聰<sup>2</sup>、長谷川 尚美<sup>3</sup>、古郡 規雄<sup>4</sup>、伊賀 淳一<sup>1</sup>、柏木 宏子<sup>3</sup>、小松 浩<sup>5</sup>、田形 弘実<sup>6</sup>、坪井 貴嗣<sup>7</sup>、沼田 周助<sup>8</sup>、飯田 仁志<sup>9</sup>、五十嵐 俊<sup>3</sup>、大井 一高<sup>10</sup>、高江洲 義和<sup>11</sup>、福本 健太郎<sup>12</sup>、村岡 寛之<sup>13</sup>、三浦 健一郎<sup>3</sup>、松本 純弥<sup>3</sup>、上野 修一<sup>1</sup>、渡邊 衡一郎<sup>7</sup>、稲田 健<sup>13</sup>、橋本 亮太<sup>3</sup>

<sup>1</sup>愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、

<sup>4</sup>獨協医科大学精神神経医学講座、<sup>5</sup>東北大学病院精神科、<sup>6</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、

<sup>7</sup>杏林大学医学部精神神経科学教室、<sup>8</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野、

<sup>9</sup>福岡大学医学部精神医学教室、<sup>10</sup>岐阜大学大学院医学系研究科脳神経科学講座精神医学分野、

<sup>11</sup>琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座、<sup>12</sup>岩手医科大学神経精神科学講座、

<sup>13</sup>北里大学医学部精神科学

3-P20-4 白血球数4000/ $\mu$ L未満による頻回の血液検査が続きクロザピン中止を希望した治療抵抗性統合失調症の一例

○佐久間 篤<sup>1</sup>、五十嵐 江美<sup>1</sup>、内海 裕介<sup>1</sup>、菊地 佑樹<sup>1,4</sup>、畠山 拓志<sup>1,3</sup>、高橋 雄太<sup>1,2</sup>、小松 浩<sup>1</sup>、菊地 紗耶<sup>1</sup>、富田 博秋<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東北大学病院精神科、<sup>2</sup>国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、

<sup>3</sup>宮城県立精神医療センター、<sup>4</sup>医療法人有恒会こだまホスピタル

3-P20-5 炭酸リチウム併用下でクロザピンによる急性尿細管間質性腎炎を生じたと考えられた一例

○須田 哲史<sup>1</sup>、殿村 駿<sup>2,3</sup>、緒方 謙太郎<sup>4</sup>、武田 詩穂<sup>5</sup>、桑原 達郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>国家公務員共済組合連合会立川病院精神神経科、<sup>2</sup>国家公務員共済組合連合会立川病院腎臓内科、

<sup>3</sup>慶應義塾大学病院腎臓内分泌代謝内科、<sup>4</sup>国家公務員共済組合連合会立川病院病理診断科、

<sup>5</sup>国家公務員共済組合連合会立川病院

9:30~10:20 一般演題 (ポスター) 21

ECT・TMS・ニューロモデュレーション

司会：松田 勇紀 東京慈恵会医科大学精神医学講座

3-P21-1 経頭蓋直流電流刺激による脳波microstate mapの変化

○西田 圭一郎<sup>1</sup>、南 翔太<sup>1,2</sup>、池田 俊一郎<sup>1</sup>、山根 倫也<sup>1</sup>、金沢 徹<sup>2</sup>、木下 利彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学総合医療センター、<sup>2</sup>大阪医科薬科大学病院

3-P21-2 若年性うつ病に対するrTMS療法の5例

○佐藤 謙伍、須田 史朗  
自治医科大学精神科



3-P21-3 うつ病の認知機能障害のrTMSによる改善効果における神経炎症仮説からの検討

○立石 洋、溝口 義人、門司 晃  
佐賀大学医学部附属病院精神神経科

3-P21-4 和歌山県立医科大学附属病院における大うつ病性障害への反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)療法の後方視的観察調査

○喜多 彬<sup>1</sup>、玉置 敦之<sup>1,2</sup>、上西 優介<sup>1</sup>、山口 泰成<sup>1</sup>、池田 裕美子<sup>1</sup>、和田 由佳<sup>1</sup>、松浦 広樹<sup>1</sup>、紀本 創兵<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>和歌山県立医科大学附属病院神経精神科、<sup>2</sup>国保日高総合病院

3-P21-5 日本医科大学付属病院で施行した高齢者に対するm-ECTの有効性と安全性に関する報告

○大矢 智之、坂寄 健、山本 憲、野上 毅、館野 周  
日本医科大学付属病院精神神経科

3-P21-6 精神疾患へのニューロモデュレーション療法のための探索的マスタープロトコル: アンブレラ・バスケット試験

○松尾 淳子<sup>1</sup>、林 大祐<sup>1</sup>、五十嵐 俊<sup>1</sup>、松田 勇紀<sup>2</sup>、山崎 龍一<sup>2</sup>、稲川 拓磨<sup>1</sup>、川上 裕<sup>3</sup>、沖田 恭治<sup>1</sup>、藤井 猛<sup>1</sup>、野田 隆政<sup>1</sup>、住吉 太幹<sup>4</sup>、鬼頭 伸輔<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学精神医学講座、<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター病院麻酔科、<sup>4</sup>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部

9:30～10:20 一般演題（ポスター）22  
神経症・気分障害・コロナ感染症関連

司会：白鳥 裕貴 筑波大学保健管理センター

3-P22-1 ウェアラブル表情筋筋電図を用いた動画視聴課題遂行時の快・不快感情の分析

○佐藤 希音<sup>1</sup>、杉本 篤言<sup>1,2</sup>、難波 太一<sup>3</sup>、大竹 雅也<sup>1,2</sup>、Ekachaeryanti Zain<sup>1</sup>、Faisal Budisasmita<sup>1</sup>、Muhammad Dwi<sup>1</sup>、佐久間 楓太<sup>4</sup>、中沢 雪菜<sup>3</sup>、大竹 雅貴<sup>1</sup>、橋尻 洸陽<sup>1,5</sup>、熊谷 航一郎<sup>6</sup>、江川 純<sup>1</sup>、飯島 敦彦<sup>3,4,7</sup>、染矢 俊幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、<sup>2</sup>新潟県立精神医療センター、<sup>3</sup>新潟大学工学部工学科人間支援感性科学プログラム、<sup>4</sup>新潟大学大学院自然科学研究科電気情報工学専攻人間支援科学コース、<sup>5</sup>新潟市民病院、<sup>6</sup>独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター、<sup>7</sup>新潟大学医学部保健学科

3-P22-2 リモートワークによって疾病が増悪したと考える3症例  
病院診療・診療所診療・産業医面談を通じての考察

○岡本 真吾  
美喜和会オレンジホスピタル診療部

3-P22-3 精神科病院病棟内にて発生した新型コロナウイルス感染症クラスター事例の報告および対策について(第2報)

○浜口 達也、前田 和輝、大井 元泰、宇佐見 彰浩、山村 哲史、河合 正弘、中澤 恵太、林 伸行、山口 哲郎、野村 泉、高山 学、奥山 香、中瀬 真治  
三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿厚生病院



3-P22-4 コロナ感染回復後にbrain fogを呈し治癒しえた1症例

○林 皓章、岩田 正明  
鳥取大学医学部附属病院精神科

3-P22-5 COVID-19流行時の留学生のメンタルヘルスについて

○白鳥 裕貴<sup>1,3</sup>、小川 貴史<sup>2</sup>、太田 深秀<sup>1,3</sup>、袖山 紀子<sup>1,3</sup>、新井 哲明<sup>3</sup>、太刀川 弘和<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>筑波大学医学医療系臨床医学域精神神経科保健管理センター、<sup>2</sup>茨城県立こころの医療センター、  
<sup>3</sup>筑波大学医学医療系精神医学、<sup>4</sup>筑波大学医学医療系災害・地域精神医学

9:30~10:20 一般演題（ポスター）23  
海外

司会：安藝 森央 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学教室（精神医学）

3-P23-1 Role of Education for Re-hospitalized Paranoid Schizophrenia Patients: A Case Report

○Muhammad Luthfi Adnan<sup>1</sup>、Baiq Rohaslia Rohaslia Rhadiana<sup>2</sup>、Romy Novrizal<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>Faculty of Medicine, Universitas Islam Indonesia、  
<sup>2</sup>Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Universitas Islam Indonesia、  
<sup>3</sup>Department of Psychiatry, dr. Soediran Mangun Sumarso General Public Hospital, Wonogiri, Indonesia

3-P23-2 The expressions of prostaglandins and their receptors in attenuated niacin flush response pathway as diagnostic biomarkers for schizophrenia

○Sheng-Hsiang Lin<sup>1</sup>、Chi-Wei Chiu<sup>1</sup>、Jin-Jia Lin<sup>2</sup>、Huai-Hsuan Tseng<sup>3</sup>、  
Po-See Chen<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>Institute of Clinical Medicine, College of Medicine, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan、  
<sup>2</sup>Department of Psychiatry, Chi Mei Medical Center, Tainan, Taiwan、  
<sup>3</sup>Department of Psychiatry, National Cheng Kung University Hospital, College of Medicine, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan

3-P23-3 Is The Glymphatic System Impaired In Schizophrenia?

○Ali Abdolizadeh<sup>1,2</sup>、Edgardo Torres Carmona<sup>1,2</sup>、Fumihiko Ueno<sup>1,2</sup>、  
Shinichiro Nakajima<sup>2,3</sup>、Jianmeng Song<sup>1,2</sup>、Yasaman Kambari<sup>1,2</sup>、Aron Amaev<sup>1,2</sup>、  
Sofia Chavez<sup>2</sup>、Gary Remington<sup>1,2</sup>、Philip Gerretsen<sup>1,2</sup>、Ariel Graff-Guerrero<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>Centre for Addiction and Mental Health (CAMH), Toronto, Ontario、  
<sup>2</sup>Institute of Medical Science, University of Toronto, Toronto, Ontario、  
<sup>3</sup>Department of Neuropsychiatry, Keio University, School of Medicine, Tokyo, Japan

3-P23-4 Treatment Resistant Schizophrenia in an Immigrant Adolescent

○Rajesh K Mehta<sup>1,2</sup>、Omaymah Al-Otoom<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>Case Western Reserve University、<sup>2</sup>Metrohealth Medical Center

3-P23-5 Escitalopram induced gynecomastia in an adolescent

○Rajesh K Mehta<sup>1,2</sup>、Mitchell McDaniel<sup>3</sup>、Chandershekhar Aggarwal<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>Case Western Reserve University、<sup>2</sup>Metrohealth Medical Center、  
<sup>3</sup>University College of Medical Medical Sciences, Delhi University



3-P23-6 understand neurobiology of fatherhood, and ways to Strengthen father child engagement

○Rajesh K Mehta<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>Case Western Reserve Univeristy、<sup>2</sup>Metrohealth Medical Center

10:45～11:40 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）10  
発達障害・気分障害・コンサルテーションリエゾン

司会：齋賀 孝久 成田赤十字病院精神神経科

3-KP10-1 発達障害における不安や抑うつに対してラモトリギンが奏功した2例

○中野 俊之<sup>1,2</sup>、柳澤 潤吾<sup>1</sup>、岡本 浩之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>特定医療法人群馬会群馬病院、<sup>2</sup>医療法人幸啓会北本心ノ診療所

3-KP10-2 成人精神科への移行が治療促進につながった気分変調症、神経性食思不振症の一例

○佐藤 瑞穂<sup>1</sup>、佐藤 謙伍<sup>1</sup>、倉田 和美<sup>2</sup>、柳橋 達彦<sup>2</sup>、須田 史朗<sup>1</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学附属病院精神科、<sup>2</sup>自治医科大学附属病院子どもの心の診療科

3-KP10-3 妊娠を契機に発症し精神科入院加療を要した身体症状症の一例

○新川 甲太<sup>1</sup>、萩原 康輔<sup>2</sup>、光井 瞳<sup>2</sup>、山科 貴裕<sup>2</sup>、松原 敏郎<sup>2</sup>、兼行 浩史<sup>1</sup>、中川 伸<sup>2</sup>

<sup>1</sup>山口県立こころの医療センター、<sup>2</sup>山口大学医学部附属病院

3-KP10-4 肥満症治療センターにおける精神科の役割と活動報告

○岡見 拓哉<sup>1</sup>、久保田 陽介<sup>2</sup>、内田 恵<sup>2</sup>、奥山 徹<sup>3</sup>、投石 浩次<sup>2</sup>、明智 龍男<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人生生会松蔭病院、<sup>2</sup>名古屋市立大学病院、<sup>3</sup>名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

3-KP10-5 肝機能異常を呈する精神科患者を肝臓専門医はどう診断したか？

－当院入院患者における肝疾患の割合と治療－

○下村 拓也、野村 憲一、高橋 有紀子、本村 啓介、村上 優、佐久間 寛之  
さいがた医療センター

3-KP10-6 当院でのギャンブル障害の治療・取り組みとその転機

○下村 拓也、山下 健、本村 啓介、村上 優、佐久間 寛之

さいがた医療センター



10:45～11:40 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）11  
リエゾンコンサルテーション等

司会：神出 誠一郎 東京大学医学部附属病院精神神経科

3-KP11-1 救命救急センター始動後の自殺企図患者に関する当院リエゾンチームの現状や課題について

○釜瀬 貴之<sup>1</sup>、大西 尚哉<sup>1,2</sup>、今津 伸一<sup>1</sup>、岡山 達志<sup>1</sup>、木下 真也<sup>1</sup>、山川 一馬<sup>2</sup>、高須 朗<sup>2</sup>、金沢 徹文<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪医科薬科大学病院神経精神医学教室、<sup>2</sup>大阪医科薬科大学病院救急医学教室

3-KP11-2 入院患者が担当医の診察に求める事項に関する調査

○八重 敬介、伊津野 拓司  
神奈川県立精神医療センター

3-KP11-3 緩和ケアチームへ紹介された不眠患者に対する経口睡眠薬の選択

○竹林地 郁<sup>1</sup>、木村 彩乃<sup>1</sup>、皆尾 望<sup>1</sup>、李 大賢<sup>1</sup>、川下 芳雄<sup>1</sup>、和田 健<sup>1</sup>、岡部 智行<sup>2</sup>、山岡 賢治<sup>3</sup>、工藤 昇馬<sup>4</sup>

<sup>1</sup>広島市立広島市民病院精神科、<sup>2</sup>広島市立広島市民病院緩和ケア科、<sup>3</sup>医療法人せのがわ瀬野川病院、<sup>4</sup>医療法人大慈会三原病院

3-KP11-4 ベンゾジアゼピン受容体作動薬をレンボレキサントへ置換することの可能性についての研究

○広田 進  
広田クリニック

11:45～12:30 専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）12  
高齢者・認知症等

司会：小松 英樹 亀田総合病院心療内科・精神科

3-KP12-1 電気けいれん療法が奏効したパーキンソン病に伴う精神病性うつ病の症例

○日根野 清、山崎 聖広、福本 俊太郎、上野 真梨子、奥村 力、橘 侑南、吉野 祐太、上野 修一

愛媛大学医学部附属病院精神科

3-KP12-2 アルツハイマー型認知症における不安症状に関連する臨床的因子の検討

○篠原 陸斗<sup>1</sup>、豊島 邦義<sup>1</sup>、尾崎 孝爾<sup>1</sup>、松山 大輝<sup>1</sup>、野原 万梨子<sup>1</sup>、味藤 静<sup>1</sup>、秋山 久<sup>1</sup>、宇土 仁木<sup>2</sup>、橋本 直樹<sup>1</sup>、久住 一郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学病院精神科神経科、<sup>2</sup>国立病院機構北海道医療センター

3-KP12-3 右側頭葉優位型前頭頭葉変性症と鑑別を要したアルツハイマー病の一例

○谷脇 真郷、三宅 健太郎、津田 敦、藤戸 良子、赤松 正則、數井 祐光  
高知大学医学部附属病院

**3-KP12-4 再栄養中に鉍質コルチコイド反応性低ナトリウム血症(MRHE)を呈した高齢の神経性やせ症患者の1例**

○市原 早紀<sup>1</sup>、樋口 文宏<sup>1</sup>、武井 光<sup>2</sup>、中川 伸<sup>1</sup>

<sup>1</sup>山口大学医学部附属病院精神科、<sup>2</sup>福岡県立精神医療センター太宰府病院

**3-KP12-5 禁煙による薬物代謝酵素誘導の解除により薬剤性QT延長を来した双極II型障害の症例**

○河原 早苗、吉村 篤、尾関 祐二

滋賀医科大学医学部附属病院精神医学講座

11:45～12:30 **専攻医・初期研修医・学部学生演題（ポスター）13**  
その他

司会：鎌田 雄 同和会千葉病院

**3-KP13-1 精神科臨床におけるたとえ話の有用性**

○藤本 健士郎、岡山 達志、金沢 徹文

大阪医科薬科大学病院神経精神医学教室

**3-KP13-2 精神科病院におけるCOVID-19クラスターの封じ込めの1事例**

○本郷 誠治、光野 真登、豊田 健裕、白木 亮祐、伊集院 将、天野 託、増井 晃

地方独立行政法人栃木県立岡本台病院精神科医局

**3-KP13-3 ミオクローヌスのため抗てんかん薬併用下での修正型電気けいれん療法が奏功した治療抵抗性統合失調症の一例**

○武田 眞一、藤本 美智子、大森 久樹、真殿 花梨、高橋 隼、畑 真弘、岩瀬 真生、池田 学

大阪大学精神科

**3-KP13-4 うつ病の治療経過中にてんかんと診断された初老期の一例**

○栗原 優、竹林 裕直、石原 紗也、洪 リビングストーン、山崎 広嗣、西原 明弘、猪狩 温

医療法人社団正慶会栗田病院

**3-KP13-5 統合失調感情障害の加療中に非けいれん性てんかんによるカタトニアをみとめた一例**

○宮川 泰介、佐藤 真耶、平木 文代、櫻井 斉司、大治 太郎

社会医療法人聖ルチア会聖ルチア病院精神科

**3-KP13-6 健常者における脳機能的結合とWAIS-III所見の関連**

○面 美来<sup>1</sup>、川崎 康弘<sup>1</sup>、川村 梨彩子<sup>1</sup>、山口 詩織<sup>1</sup>、小出 蓉子<sup>1</sup>、大畑 郁乃<sup>1</sup>、

妹尾 貴紀<sup>1</sup>、中野 修<sup>1</sup>、片岡 譲<sup>1</sup>、嶋田 貴充<sup>1,2</sup>、橋本 玲子<sup>1</sup>、長澤 達也<sup>1</sup>、上原 隆<sup>1</sup>

<sup>1</sup>金沢医科大学精神神経科学、<sup>2</sup>医療法人積仁会岡部病院